

2025. **7.18** Fri. — **9.7** Sun.
会期中無休



HOTCH POTCH

Illustrations and Works of **Ryuji Fujieda**

ハッチポッチ 藤枝リュウジの世界



開館時間＝9時～17時(金曜日は20時まで開館)

※入場は開館30分前まで ※7月18日は10時開場 ※観覧情報などに変更の生じる場合がございます。最新情報は広島県立美術館(電話・HP・SNS)まで
入館料＝一般／1,500円 高・大学生／1,000円 小・中学生／700円 ※前売・20名以上の団体料金は当日料金より200円引き ※前売券は、
広島県立美術館、セブンチケット(セブンコード: 110-488)、ローソンチケット(Lコード: 61591)、チケットぴあ(Pコード: 995-428)、広島市・県市内の主なプレイ
ガイド、画廊・画材店、ゆめタウン広島、中国新聞社読者広報部などで販売しています。 ※学生券をご購入・ご入場の際は、学生証をご提示ください。 ※身体
障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び肢体障害者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。手帳をご提示ください。 ※会期中、
本展チケットのご提示(半券可)により、100円で絵巻鑑にご入館いただけます。

主催＝広島県立美術館、広島ホームテレビ、イズミテクノ、中国新聞社 後援＝中国放送、広島テレビ、テレビ新広島、エフエムくやま、尾道エフエム放送
協賛＝アンデルセン 広島県協賛＝広島県信用組合、一般財団法人ケンシン地域経済財団
協力＝藤枝リュウジデザイン室、NHKエデュケーション 企画制作＝クレヴィス

展覧会「クインティット」イラストレーション アリア 2004年、「WHAT IS THIS?」展覧会 2017年、「Book Back Hour」展覧会 2011年、「クインティット」イラストレーション パパハ 2003年
友下から「不完全な人」展覧会 2009年、「ハッチポッチステーション」イラストレーション トランク 2000年、「ハッチポッチステーション」イラストレーション ロゴ 2000年、「ハッチポッチステーション」
イラストレーション ダイアグラム/ス・ダイヤモンド 1996年、「ハッチポッチステーション」イラストレーション ジャーニー、ふかんぜんなまゐり展覧会 2016年、「Speak Low」展覧会 2023年 (すべて題名)



広島県立美術館
Hiroshima Prefectural Art Museum

〒730-0014 広島市中区上横町2-22
TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444
<https://www.hpam.jp/>



【開催趣旨】

イラストレーター＆アートディレクターとして半世紀以上のキャリアを持つ藤枝リュウジ（1943ー）。1996年には、アートディレクションを手がけたパペット番組「ハッチポッチステーション」がNHK教育テレビ（現・Eテレ）で放送開始。ポップで温かみのあるデザインは幅広い年代に親しまれました。作家はじめての大規模展となる本展では、個展作品を中心とした絵本や装幀などのイラストレーション作品と、パペット番組をはじめとしたテレビや広告などのアートディレクション作品から500点以上を紹介します。

1章 藤枝さんのお仕事（Works）

藤枝リュウジは1968年に東京藝術大学工芸科を卒業し、広告代理店サン・アド入社、その後、フリーランスを経て1982年、藤枝リュウジデザイン室を主宰しました。半世紀以上のキャリアのなかで、藤枝がほかの作家・著名人や企業と関わりながら手掛けた作品は多岐にわたります。この章では絵本やアートディレクション、広告、装幀、CMなどを紹介します。



『ぞうからかうぞ』 BL 出版 1991年

上から読んでも下から読んでも同じ言葉「回文」の絵本。1ページに回文1つとイラスト1つで、言葉の面白さとイラストの面白さを楽しめる。文は石津ちひろさん、絵を藤枝が手掛けた。



**「ボクニキミニ こどものための 100 冊」
文化通信社 2021 年 -**

2021 年から継続の著名人によるオススメ絵本紹介プロジェクト。キャラクターデザインも担当。本の森にクラスモーリーがナビゲーターとなり、ボクニもキミニも読んでほしい絵本を幅広く紹介する。毎年書店でキャンペーンを展開。

**「アンデルセンファームのりんごの木」
商品紹介絵本
アンデルセン 2019 年**

アンデルセンの Farmer's Bread シリーズ紹介絵本。広島県北広島町（旧 芸北町）のりんご畑を青い鳥が巡り、ファーマーズ・ブレッドができるまでを紹介する。当時店頭では絵本を展示、折りたたみリーフレットが配布された。デザインは副田デザイン制作所。



2章 藤枝さんとこども番組（Puppet Show）

1996年から2022年までNHK Eテレ（教育テレビ）で放送されたパペット番組シリーズでの藤枝の仕事は、番組のセットやキャラクター、ロゴなどのビジュアルイメージを作ることでした。この章では、番組に登場したポスターやアニメーションをはじめ、数々の原画作品を中心に紹介します。番組に登場したパペット 18 体も展示します。おなじみのオープニングテーマ上映とともに楽しみください。「コレナンデ商会」キャラクター誕生に至るアイデア・スケッチも必見です。



「ハッチポッチステーション」 イラストレーション 2000 年

出演にグッチ裕三氏を迎え、洋楽オマージュ楽曲などのエンターテインメント・ショーとして始まった。滅多に電車の来ないどこかの駅が舞台。こどもよりもむしろ、おとなが楽しめるパロディが豊富で、幅広い層に親しまれる人気番組となる。



「ハッチポッチステーション」 パペット ジャーニー

©NHK

「クインテット」イラストレーション アリア 2004 年

出演に宮川彬良氏を迎え、J-POP から童謡、クラシックまで幅広く音楽の魅力を伝えた。クラシック演奏のシーンでは、パペットの操演が、実際に楽器を演奏するときの指の動きをリアルに再現していたことも話題となった。



3章 藤枝さんのイラストレーション (Illustrations)

1987年から東京「HB Gallery」でほぼ毎年、開催している個展は30回以上を数えます。個展の開催はクライアントのある仕事とは異なり、藤枝にとって純粋な「描く喜び」が広がったプライベートワークと言えます。この章では、これまで個展会場以外では目にすることのできなかったイラストレーション作品と、本展のために描き下ろした新作イラストレーション作品をご覧ください。

「ふかんぜんなまる」 出品作品 2016 年

仕切られた不思議な空間に様々な生きものが登場する作品。



「WHAT IS THIS?» 出品作品 2017 年

「これ、なんでしょう？」な作品。

「ハッチポッチステーション」 イラストレーション 2024 年

本展のための描き下ろしイラストレーション作品。このほか「クイントット」「フックブックロー」「コレナンデ商会」それぞれの描き下ろし作品の展示を予定。



【関連イベント】

◎藤枝さんのおはなし&サイン会

7月18日（金）10時30分～12時（開場は30分前から）

対談相手：副田高行さん（アートディレクター）

共 催：広島県立美術館友の会

会 場：地階講堂

※トークイベントは参加無料、定員200名、事前申込制（082-221-6246）

※サイン会に参加ご希望の場合は、地階講堂又は3階展示室出口ショップで本展図録をご購入ください。
（サインはおひとり1冊まで）

◎藤枝さんの絵本を楽しもう

7月28日（月）11時～、13時～

対 象：子どもからおとなまで

読 み 手：広島ホームテレビアナウンサー

作品案内：広島県立美術館学芸員

場 所：3階ロビー

※参加申込不要

◎会場からの配信

ポッドキャスト Spotify

7月28日（月）17時～

広島県立美術館【公式】
ポッドキャスト



インスタライブ

8月18日（月）17時～

広島県立美術館【公式】
インスタグラム



【関連概要】

メインタイトル：ハッチポッチ 藤枝リュウジの世界

英語名：HOTCH POTCH Illustrations and Works of Ryuji Fujieda

会 期：令和 7 年 7 月 18 日（金）～ 9 月 7 日（日） 会期中無休

開館時間：9：00～17：00（金曜日は 20：00 まで開館）

※入場は閉館の 30 分前まで ※7 月 18 日は 10:00 開場

料 金：一般 1,500 円 高・大学生 1,000 円 小・中学生 700 円

※前売り・20 名以上の団体は当日料金より 200 円引き

※会期中、本展チケットのご提示（半券可）により、100 円で縮景園にご入園いただけます。

※学生券をご購入・ご入場の際は、学生証のご提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者（1 名まで）
の当日料金は半額です。手帳をご提示ください。

※前売券は、広島県立美術館、セブンチケット（セブンコード：110-488）、ローソンチケット
（Lコード：61591）、チケットぴあ（Pコード：995-428）、広島市・呉市内の主なプレイガイド、
画廊・画材店、ゆめタウン広島、中国新聞社読者広報部などで販売しています。

開催クレジット

主催：広島県立美術館、広島ホームテレビ、イズミテクノ、中国新聞社

後援：中国放送、広島テレビ、テレビ新広島、エフエムふくやま、尾道エフエム放送

協賛：アンデルセン 広島展協賛＝広島県信用組合、一般財団法人ケンシン地域振興財団

協力：藤枝リュウジデザイン室、NHKエデュケーショナル 企画制作＝クレヴィス

問い合わせ先：広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町 2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail：iroeuma2@gmail.com

担当：学芸課 隅川 明宏

広報担当：総務課 一色 直香

公式 SNS はこちらから



【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。掲載の際に画像が必要な場合は、当館へお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館へ提出していただき、

1 週間程度お時間を頂きます。ご了承ください。

※展示室内での筆記具の使用は鉛筆のみお願いします。（ボールペンなど使用不可）